

原本不良

秘

自動車工業確立ニ關スル各省協議會議事經過大要

第一回八月十日(金)

商工省
工務局



日通商工業設立二箇又ハ各官署議會録事録大塚

商工省 工 務 課

昭和八年八月十日(金)

出席者

昭和八年八月十日(金) 於 商工省第二會議室

陸軍省 山岡整備局長。多田兵器局長。田邊動員課長。永田中佐。山田中佐。

井上少佐。伊藤大尉。

海軍省 大島軍務局第二課長。細谷中佐。

鐵道省 朝倉工作局長。山下自動車課長。德永車輛課長。運輸局長。

大藏省 中島主稅局長。谷口關稅課長。栗山技師。

內務省 唐澤警保局長。安井地方局長。

資源局 久保施設課長。藤澤技師。

商工省 吉野次官。竹内工務局長。坂工政課長。岸文書課長。神田事務官。

宮田技師。日下技手。飯島囑託。

商工省

岡田村。日下野平。謝京輔。菅健次官。竹内工務局長。其工務局長。其文書局長。藤田事務官。

青森県

八戸副知事。藤野村。

岩手県

柳井副知事。安井副知事。

大森市

中島副知事。谷口副知事。栗山村。

盛岡市

博多工務局長。山下自衛車隊長。盛水車隊長。盛岡市長。

新津市

大森軍務局長。二階堂。藤谷中尉。

新津市

井上中尉。田島大尉。

新津市

山岡副知事。冬田副知事。田島副知事。水田中尉。山田中尉。

昭和八年八月十日(金)

商工省第二會議室

開

議

答

開會 午前十時二十五分

次官。 商工省ハ從來自動車工業ノミナラズ機械工業全般ニ對シテモ其ノ發達ニ力ヲ盡シテ來マシタガ、其ノ内自動車工業ハ機械工業ノ中樞ヲナシアラユル技術ノ精ヲ有スルニモ拘ラズ獨リ遅レテ居リマスノデ之レガ速カナル發達ハ産業上ノ見地ヨリモ望マシト共ニ軍事國防上ノ見地ヨリ考ヘルモ甚タ必要デアリマス、商工省ハ既ニ昭和六年ノ頃關係各省ヨリ委員ノ出席ヲ求メテ自動車工業確立委員會ヲ開催シ學者ノ及自動車工業關係ノ經驗者ヲ集メ議ヲ練ツタ結果昭和六年三月當時ノ狀態ヨリシテ「フォード」ノ如キ車トノ競争ハ未ダ其時期ニアラザルヲ以テ中級車ヨリ始ムルヲ至當トシ所謂標準形式車トイフ型ヲ作り其ノ助成手段トシテハ昭和七年ヨリ若干ノ補助金ヲ計上シマシタ、然シナガラ軍需工業多忙ナル時期ニ際會シ豫期ノ成績ヲ擧ゲ得ナカッタ事ハ遺憾デアリマスガ當初ノ計畫ヲ只今實行中デアリマス

一、... (mirrored text from the reverse side)

ノ外國品ハ安價ナル爲メニ直チニ之ト競争スルコトハ其ノ犠牲ガ餘リニ大デアツタノデ第一手段トシテカ、ル競争ノ激シイ方面ヲ避ケテ所謂中級車ノ助成ヲスルコトニ方針ガ一致シマシタ。而シテ之モ只民間ノ自由ニ任シテハ充分ナル發達ヲ望ムコトハ困難デアルト云フ理由ニ依ツテ政府ニ於テ出來得ル限りノ助成策ヲ講ジ助成金ノ交付、部分品ノ關稅引上及使用獎勵ノ爲各省ノ協力ノ必要アリトシ、又其當時ノ三ツノ會社ガ互ニ小市場ニ於テ相争フ事ハ甚ダ不利ナル爲ニ販賣上ノ統制ノ必要アリト云フ事デアリマシタ。之ハ出來得レバ各社カ合同シテ一社ニナルト云フ事ハ甚ダ望マシイコトデアリマスガ資本關係ナドノ事情カラ困難デアリマシタ爲ニ販賣上何等カノ統制ヲ行フコトナリマシタ。而シテ商工省ニ於テハ委員會ノ決議ヲ尊重シ其ノ實現ニ努力シマシタガ豫期ノ如ク運バナカッタ事ハ遺憾デアリマス、併シ相當大ナルコトハ實現サレテ居リマス、即チ部分品ノ關稅引上及助成金ノ交付ヲ行ヒ保護策ノ實施ヲシマシタ、又販賣統制ニ付テハ委員會ノ決議

原本不良

ハ無カツタガ只今ノ主旨ヲ以テ無用競争ヲ避ケル爲ニ合同ニ付考慮シ
 内々三社ニ諮リマシタ所其ノ賛意ヲ得マシタノデ陸軍ニモ助力ヲ求メ
 マシテ其ノ合同ヲ計リマシタガ遂ニ實現ヲ見ルニ至リマセンデシタ、
 然シ販賣統制トシテハ多ツト自動車製造會社ト石川自動車製作所トノ
 合同ヲ圖リ其ノ結果現在ノ自動車工業株式會社トナリ又ソノ自動車工
 業會社ト東京瓦斯電氣工業株式會社ハ販賣會社ヲ作り政府ノ助成車ノ
 販賣ニ付協力スル事トナリマシタ。
 次ニ此際述べタイ事ハ標準形式自動車ノ助成狀況ハ如何ト云フ事デア
 リマス、標準形式自動車ニ關スル豫算ハ二年度ニテ二十六萬圓ヲ計上
 シ成ル可ク之ヲ有効ニ使用スルト云フ主旨デアリマシタガ何分販賣上
 會社デ充分ナル自信ヲ持タズ豫期ノ如キ多數ノ車ヲ作ルニ至ツテキマ
 セシ。昭和八年度ハ七萬五千圓ヲ以テ百五十台ヲ完成シ昭和九年度ハ
 未ダ決定ヲ見ズ今年度ニ入ツテカラ既ニ數ヶ月ヲ經過シ甚ダ遺憾デア
 リリマスガ八年度ノ實績ヨリ見テ九年度ニ於テハ多少増加スルモノト思

於テ行ハル所ノ影響ハ甚大ニシテ、又販賣統制ニ付テハ委員會ノ決議
 ナルコトハ實際サレテ留リマス。明ヤ勝食品ノ關係係士氣激昂ノ空
 氣ニシテ、而シテ商工業ニ付テハ委員會ノ決議ニ對シテ、其ノ關係大
 事附キテ困難アリマス。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大
 一五ニテハ、五ニテ事ハ甚大ニシテ、而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大
 備ハ必要アリ云テ事マアリシ。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大
 ヲ、會社五ニ小市部ニ付テ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大
 關聯係士氣激昂ノ空氣ニシテ、而シテ、商工業ニ付テハ委員會ノ決議
 於テ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大
 自由ニ付テ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大
 中、車ノ製造マシ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大
 大マテ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大
 代用品ハ安物ナルニシテ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大。而シテ、販賣統制ニ對シテ、其ノ關係大

自働車工業ノ編立ニ關シテハ、陸軍ニ必要ナル自動車ノ製造力ヲ國內ニ有シテ居ル事ガ必要デアリ而シテ、簡便ニ補給スル爲ニハ、國內ニ確固タル工業

自働車工業ノ編立ニ關シテハ、陸軍ニ必要ナル自動車ノ製造力ヲ國內ニ有シテ居ル事ガ必要デアリ而シテ、簡便ニ補給スル爲ニハ、國內ニ確固タル工業

過キル時ハ實現ガ困難ナノデ可成犧牲ヲ少クシテ方策ヲ樹立シタイ、
商工省ハコノ方面ノ主管官廳トシテ責任ガアルト考ヘラレマスガ其ノ
知識ガ少イノデ使用セラル、方面ノ鐵道省トカ其ノ他製造方面ニ關係
アル各省ノ御意見ヲ伺ツタ上デ確定的ナ方策ヲ樹立シ度イト思フ。

尙來年度ノ豫算ニ付一言スルガ之ニ付テハ目下考慮シテ居リ自動車工
業確立ニ付法律ヲ施行スル爲僅少ノ經費ヲ負擔スル外部分品製造ニ付
検査ノ制度ヲ作ル事ノ必要ヲ認メ若干ノ豫算ヲ要求中デアリマス。

山田。 陸軍ノ自動車ノ必要デアル事ハ申上ゲル迄モナク各國陸軍ノ趨

勢トシテ軍ノ機械化ガ行ハレ自動車ノ數ハ増加シテ居ル、從ツテ自動
車ノ需要ハ著シク増加シタ次ニ戰時軍ノ編成ニ當ツテハ自動車ニ付テ
モ軍用自動車ノ大部分ハ平時民間ニ於テ使用シテ居ル一般ノ車ヲ徵發
使用シナケレバナラヌ。故ニ國內ニ多數ノ車ヲ有スル事ハ絶対ニ必要
デアリコノ車ヲ適時更新シ或ハ補充スル上ニハ製造力ヲ國內ニ有シテ
居ル事ガ必要デアリ而シテ簡便ニ補給スル爲ニハ國內ニ確固タル工業

軍用車は必要を以て小面とて前車ニ勝過スルはニハ國內ニ整備スル工業
でマシヒ車ニ漸起更進とてハ蘇文スル土ニハ樂致代モ國內ニ存マ
量限マシマシハセマヌ。茲ニ國內ニ整備スル車ニ本スル車ハ整備ニ必要
ナ車限自備車ノ大體ハ平和兵備ニ就テ對用マシマシハ一級ノ車ニ整備
車ノ整備ハ業々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
使イマシマシ自備車ノ整備ハ平和兵備ニ就テ對用マシマシハ一級ノ車ニ整備
山田。 船軍ノ自備車ノ整備ハ平和兵備ニ就テ對用マシマシハ一級ノ車ニ整備
蘇文ノ整備ハ業々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々々
蘇文立ニ對テ對用マシマシハ平和兵備ニ就テ對用マシマシハ一級ノ車ニ整備
向來半製ノ製莫ニ對一官スルハニハ目下不承取マシマシハ一級ノ車ニ整備
マシハ各管ノ職意見モ同マシマシハ平和兵備ニ就テ對用マシマシハ一級ノ車ニ整備
歐羅巴式トシテ對用マシマシハ平和兵備ニ就テ對用マシマシハ一級ノ車ニ整備
商工管マシマシハ平和兵備ニ就テ對用マシマシハ一級ノ車ニ整備
強ナキ製ハ實莫ニ困難マシマシハ平和兵備ニ就テ對用マシマシハ一級ノ車ニ整備

ヲ持タナケレバナラヌ特ニ自動車ノ如ク多數ノ部分品ヲ有スルモノニ
ハ統一シタル工場ヲ有シナケレバナラナイ。
最近滿州事變ノ經驗ニ依ルモ從來軍用車トシテ「フォード」「シボレ
」ノ如キ車ガ使用可能デアルカ否カニ付疑問ヲ持ツテ居タガ特種ノ
改修ヲ施セバ低級車デモ後方用ノモノニ使用シ得ル事ガ判ツタノデ大
衆向ノ國產車ヲ製造シテ置ケバ此ノ目的ヲ達シ得ル。陸軍ニ於テハ大
正七年以來軍用保護自動車ノ制度ニ依リ軍用車ノ製造普及ヲ圖ツタガ
最近ハ技術モ進歩シ四輪車ハ普及シタル爲昭和八年ヨリハ六輪車ニ對
シテノミ補助スルコトトナツタ而シテ六輪車ハ第一戰部隊ニ行動シ概
シテ路外ニ出ツル爲ニ一般大衆向ノ車トハ非常ニ異ツテキル如斯一般
大衆車モ戰時ハ大イニ必要ナル爲ニ國內ノ自動車工業ヲ確立シ大衆向
自動車ヲ戰時ノ使用ニ當テント考ヘルノデ今御話ノ有ツタ通り大衆向
經濟車ガ國產ニテ製造サレル事ノ一日モ速カニ來ラン事ヲ希望スル次
第デアリマス。

和状態ト思ハレ單ニ經濟界ノ變動ニ依ルモノトハ異ルモノト思ハレル
又日本ノ道路状態ハ飽和状態ニアルノデハナカラウカ。
局長。昭和五年以後増加率が減少シテキルノハ經濟界ノ事情ニモ關係
アルガ道路ノ飽和状態ニモ係ツテキルノデハナイカ、トモ考ヘラレル
ガ、此問題ニ就テハ諸氏ノ御意見ヲ伺ヒ度イ。只製造界ノ意見ハ少シ
樂觀的意見ヲ持つテキル様デアル。
藤澤。自動車ガ飽和状態ニ達シタ時ノ車種ニ就テ考ヘテ見度イ。
局長。朝倉氏ノ御意見ハ如何デスカ。
朝倉。日本ハ外國ニ比較シテ人口一人當リ自動車數ガ少カッタガ段々
増加シテ伊太利位ニナツテ來タ。東京ハ増加率が減少シテ飽和状態ト
モ思レルガ地方ハ未ダ未ダデアツテ日本全國トシテハ増加ノ速度ハ判
ラナイガ歐米ニハ遙カニ及バナイノデ、増加スルモノト思ハレル其ノ
豫想ハ今考ヘル必要ガナイト思ハレル。
兎ニ角現在ハ乗用車ガナイノデ先ヅ乗用車ニ付計畫シナケレバナラナ

ニテ考テ...

鐵鋼。鉄金マ煉メテキハ車ノ煉マテハ成マ實業ニ對出セムテ出ル車ノ...

ミルニテチチ十百台再出出セムテ出ル、外國ノ自働車煉ハ十五台イ登...

中島。鐵鋼ノ煉立合煉ハ全階内此ニテ對出セムテ出ル車ノ...

一應煉成テハハ八階出大セハ階階マ要スル成ロノ立ノ需要成テハ...

車直出成成スルチノイヌハ八中台成出成ニ對マ需要成テハ階階...

車直出成成スルチノイヌハ八中台成出成ニ對マ需要成テハ階階...

中島。警視廳デハ増車ヲ許サナイト云フガ其ノ關係ヲ道路ノ問題ト合

セテ考ヘナケレバナライモノト思ハレル。

朝倉。東京ニ於テ増車ヲ許サナイト云フノハ、圓多ク許リデア、ソ

レ以外ノ一般ノ車ハ禁止シテ居ナイ。故ニ増車ヲ許サナイト云フ問題

ニハ觸レナクトモヨイト思ハレル。

藤澤。数字的ニ見ルト年ニ一万台近ク組立ラレテ居ル「フォード」シ

ボレー」ノ如キハ現在販賣上ニ難シイ點ガアルガソレガ需要額ノ増加

ニ關係アルコトト思ハレル。

朝倉。ソレハ尤モナ事ト思フ、米國デハ需要ガ減少シ從ツテ生産ガ減

少シテキル然シソレハ米國ノ問題デアツテソレハ當方ガ發達スルカ否

カニハ關係ガナイノデハナイカ、如何ニシタナラ安價ナ草ヲ作ルカラ

考ヘレバヨイ、安價ニ製造スレバ賣レルモノト思ハレル。

局長。將來一台モ増加シナイト云ヘバ問題外デア、今迄以上ニ増加

シナイカラ手足が出ヌト云フ結論ニ達スルノデハナイ、假ニ一万台増

原本不良

心ヤト成り半出ス云々 藤澤。新經濟車ハ賣レルモノデナケレバナラナイ、賣リ易クナクテハ
何モナラナイ、「フオード」「シボレー」ノ如キ販賣網ニ對抗シテキ
ルニハ難事業デアアル其見極メヲツケナケレバナラナイ。現ニ彼等ガ弱
ツテ回復策ヲ講シテキル時ニ之レヲ抑ヘル事ハ困難デハナイ。
昭和八年ノ生産額中一、八〇〇台ハ何デアアルカ。
局長。陸軍關係ノ車モ入ツテキル。
藤澤。朝倉氏ノ御話デハ安クスル方策ト云ハレタガ其ノ方策トハ如何
ナルモノデアアルカ。
朝倉。方策ハ有シテキルガ今ハ其ノ發表ハ出来ナイ。
宮田。先程ノ中島氏ノ質問ニ對シテ御答ヘシマス
昭和八年八月末現在ノ自動車
東京、乗用車(バスヲ含ム)

東京、乗用車(バスヲ含ム)

一五七八五

乗用車（ハスを含む）

一五〇八五

八車八尺末車自備車

出。光跡の中島丑ノ買問ニ種々モ降答ヘシマス

車。式策ハ各々モキル世令ヘ其ノ發表ハ出来ナト。

本車ハ入シテハ也。

。海軍食具ノ降答モハ安クスマ式策イ云ハシム其ノ式策イハ既

。海軍。海軍服ヲ車子人々モキル。

。海軍。海軍服ヲ車子人々モキル。

。海軍。海軍服ヲ車子人々モキル。

。海軍。海軍服ヲ車子人々モキル。

。海軍。海軍服ヲ車子人々モキル。

。海軍。海軍服ヲ車子人々モキル。

。海軍。海軍服ヲ車子人々モキル。

貨物車

七五三八

特種車

二六八

合計

二三五九一

大阪、乗用車

四五九五

貨物車

二、三〇九

特種車

一七九

合計

七〇八三

局長。商工省トシテ考ヘテ來タ自動車工業確立ニ就テノ案ガアリマス

ガ之ヲ比評シテ貰ヒ議論スル動機ヲ作ル意味ノ試案ガアル。ソレヲ見

タ上議論スル方ガ早路カトモ思ハレル。

坂。自動車工業確立要綱ヲ朗讀

局長。過日現在ノ製造關係者及企業計畫所持者ノ意見ヲ求メタ所夫々

意見ハ異ツテ居ル今日ノ状況デハ外國ノ大會社ノ「コスト」ガ安イガ

日本ニハ亦特種ナ事情ガアルノデ製造方法ヲ適當ニスレバコノ經營ガ

日本ニハ亦律動ニ事附せてハ、モ價昂式若クモ嚴當ニタニル也ノ弊發セ
 且具ハ異々ヲ領ル今日ノ煤炭ヲハ校園ノ大會挿入一ニシテトセ
 且具。 煤日與亦ノ煤炭關聯答成企業相商相許答ノ意見モ亦々ノ相夫
 矣。

自働車工業部立要購マ願願

モ土産産ニハ式モ早製式イ子思ヘンヲ。
 式式モ且價々モ貫シ編編ニハ機對ニ計ハ意刺ノ端案ヤテハ。モノモ具
 且具。 商工答イモモモモモ來々自働車工業部立ニ辣ヤノ案ヤテリマニ

合 惜 一〇八三

彈射車 一〇八三

貨車 二二〇五

大用、乘用車 四五五五

合 惜 二三五五

耕種車 二六八

貨車 三五三八

可能デアアル。然シ心配スル點ハ需要増加ノ問題ニ關係スルガ販路ガ急
 ニ増加スルノデナイノデ結局小サイ市場ヲ相手ニ事業者ガ亂立スル事
 ヲ恐レル。例ヘバ年産五千台ガ適當デアルト考ヘラレル時ニ互ニ連絡
 無ク、會社ガ製造ヲ開始スル時ハ會社相互ノ競争トナル事ヲ懸念シ政
 府デ適當ニ統制スル事ヲ希望スル。又政府デ出來得ル限り購賣ヲ保證
 スレバ之ヲ行ツテモヨイト云ツテキル。コノ事ニ就テハ前ト同ジ心持
 テ居ルモノト思フ。故ニ國策トシテ決定スヘキ事ハ現在ノ狀況デ亂立
 ヲ防グ事ガ先ヅ第一デ之ヲ許可事業トシテ需要増加ヲ考量シテ許可ヲ
 ナシ、事業者ヲシテ安心シテ多額ノ投資ヲセシメ様ト云フノガ基礎デ
 アル現在ハ自動車關係ノ會社ハ數社アルガ之ヲ如何ニ處置スルカト云
 フ事ニ對シテハ備考ニ答ヘテ居ル。即現在各社ニテ製作シテ居ル車ハ
 之ヲソノマ、製作セシメ若シ新事業ニ參加シタイト云フ希望ガアレバ
 投資或ハ部分品製造等ノ方法ニ依ツテ參加セシムル方ガヨイト思フ。
 次ニ此ノ外ニ町工場トノ關係ガアル中小部分品工場ハ其ノ數ガ甚ダ多

明治三十四年三月十日
東京瓦葺屋工業協会の
臨時總會の開催に
ついての報告
（東京瓦葺屋工業協会の
臨時總會の開催に
ついての報告）

フ事ヲ政府ガ保證スレバヤルト云フ事ノ外ハ何等意見ガ無カツタ然シ
若シ斯様ナ方策ヲ實施スレバ必ズ會社ハツイテ來ルニ違ヒナイト思フ
藤澤。 現在ノ關係自動車會社ハ軍用車ノミヲ製作シテ居ルカ、軍用車
ガ多忙デアアル爲ニ標準車ガ少ナイノデアアルカ。

山田。 ソレモアル。
局長。 軍用ノ爲ノミデナク一般ニ軍需品ガ忙シイ爲デアラウ。

山田。 ソノ通りデアアル。
局長。 今差上ゲタ、試案ハ突然デアツテ直チニ御意見ヲ聞ク事ハ困難
17

カト思フカラ可成近イ内ニモ一度御集ヲ願ヒ度イ。ソレ迄ニヨク御研
究ヲ願ヒ度イ。

デハ來週火曜日午前九時半ヨリ第二回ヲ開ク事ニシマス。
久保。 コノ案ガ決ツタ上ハドウ取扱フカ。
局長。 閣議ニ諮リ度イト思フ法律ハ來議會ニ提出スル心算デアアル。

散 會